

大和川 (やまとがわ)



写真出典：平成 28 年度版『わたしたちのまち堺』 P150-151 堺市教育委員会

大和川は、昔から堺の北側を流れていたのではありません。江戸時代につけかえ工事を行い、今の大和川の水の流れができました。第二次世界大戦後昭和40年代はじめごろは急激(きゅうげき)な人口の増加で水がよごれ、魚などの生物も住めなくなりましたが、今は水質がよくなってきています。

Q. つけかえ工事って？

A. 今米村[今の東大阪市]の庄屋(しょうや)、甚兵衛(じんべえ)が中心となり川の流れを変える工事がおこなわれたよ。

それまでは、今の柏原市から八尾市、東大阪市を通過して大阪城の北側で海に注いでいたけれど、柏原市から西にまっすぐ流れるようにていぼうをつくり、今の場所に変わったんだよ。

Q. どうして水がきれいになってきたの？

A. 大和川は、平成 17 年から 19 年まで3年連続して、国管理河川の中で全国水質ワーストワンとなっていたけれど、いろいろな取り組みがあつて、平成 20 年[2008 年]には返上し、その後も水質は少しずつ改善しているよ。

水源（すいげん）から大阪湾に流れこむまで、さまざまな県や市がさまざまな取り組みをしているよ。

出典：大阪府ホームページ[2012/8/15 現在]

<http://www.pref.osaka.jp/jigyoshohido/kawachiiki/mo-top.html>

平成 28 年度版『わたしたちのまち堺』P151-161 堺市教育委員会